

事業評価監視委員会(平成22年度第2回) 審議案件

事業名	事業箇所名	再評価理由 (事後評価)	特に重点的な審議を要する案件(案)						事業採択 年度	前回評価 年度	今回評価 B/C (全体)	左記a)~e)の項目の 内容	備考	
			監視委員会 における決 定	事務局 (案)	a)B/Cが1.0 を下回る 可能性のある 事業	b)事業計画 等の変更	c)特に事業 規模が 大きい	d)世論の 関心						e)その他の 要因
河川	1	那珂川総合水系環境整備事業								H13	-	3.4		1~10の案件については、e)その他の要因「事業評価単位の変更」を行っているが、特に重点的な審議を要する案件の理由が類似しているため、事業費の大きい2.荒川を代表審議案件とした。
	2	荒川総合水系環境整備事業								H10	-	2.2	e)評価単位の変更	
	3	鶴見川総合水系環境整備事業								H18	-	18.9		
	4	利根川総合水系環境整備事業 (利根川・江戸川環境整備)								H7	-	5.4		
	5	利根川総合水系環境整備事業(霞ヶ浦環境整備)								S50	-	1.3	c)大規模浚渫事業	
	6	利根川総合水系環境整備事業(小貝川環境整備)								H18	-	4.9		
	7	利根川総合水系環境整備事業(利根川河口堰)								H19	-	3.4		
	8	利根川総合水系環境整備事業(常陸川水門)								H18	-	2.3		
	9	利根川総合水系環境整備事業(渡良瀬遊水地)								H17	-	1.4		
	10	利根川総合水系環境整備事業(園原ダム)								H19	-	3.2		
ダム	11	湯西川ダム建設事業								S57	H19	4.3	c)、d)ダム建設事業として世論の関心が高い	
道路	12	一般国道50号 下館バイパス								S61	H17	1.7		
審議件数(再評価:12件)														

再評価理由 : 事業採択後3年間が経過した時点で未着工の事業
 : 事業採択後5年間が経過した時点で継続中の事業
 : 準備・計画段階で3年間が経過している事業
 : 再評価実施後3年間が経過している事業
 : 社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業

その他の例
 ・評価単位、評価手法見直された事業
 ・その他、特筆すべき事項がある事業